

# 世羅町立学校施設の耐震状況

平成23年4月現在

学校名	棟用途	建築年月	構造	階数	面積(m <sup>2</sup> )	第1次診断		第2次診断			耐力度(点)	改修		改修後		耐震性	備考	
						年度	Is値	年度	Is値	q値		年度	Is値	q値				
甲山小学校	校舎	H8.8	RC	2	2,537													
	屋内運動場	H23.2	SRC	2	1,163													
せらひがし小学校	校舎	H5.4	RC	2	1,963													
	校舎	H23.2	RC	2	277													
	屋内運動場	S54.1	RC	1	504			H20	0.28	0.30		H22	0.75	1.25				
世羅小学校	校舎	S62.1	RC	2	3,784													
	屋内運動場	H23.2	S	1	1,230													
せらにし小学校	校舎	S63.2	RC	2	2,069													
	屋内運動場	H16.2	RC	1	1,626													
甲山中学校	校舎(A棟)	H16.8	RC	2	2,307													
	校舎(B棟)	H16.8	RC	2	1,083													
	校舎(C棟)	H16.8	RC	2	902													
	屋内運動場	S43.12	S	1	760			H20	0.26	0.81		H22	0.78	1.42				
世羅中学校	校舎(南棟教室)	S51.3	RC	2	1,736			H9	1.09									
	校舎(南棟廊下)	H51.3	RC	2	374			H9	1.09									
	校舎(北棟教室)	S51.12	RC	2	1,620			H9	1.31									
	校舎(北棟廊下)	S51.3	RC	2	233			H9	1.31									
	校舎(技術棟)	S51.12	S	1	494			H9	1.06	4.28								
	屋内運動場	S52.12	RC	1	1,076			H9	1.02	1.73								
世羅西中学校	校舎	S58.2	RC	2	2,623													
	屋内運動場	S58.2	RC	1	1,077													

注1) 昭和56年に建築基準法が改正・施行されたため、昭和57年以降に建てられた建物は現行の耐震基準に適合しており、耐震性がある建物と判断できるため、耐震診断を実施する必要がない。

注2) Is値とは、建物の耐力や粘りを現す構造耐震指標で、現行の建築基準と同等の耐震性能があるとされる目標値(文科省基準)は0.7以上(1次診断は0.9以上)。0.6未満の場合は倒壊や崩壊の危険性がある、0.3未満の場合は倒壊や崩壊の危険性が高いとされる。

注3) q値とは、建物の保有水平耐力のことで、現行の建築基準と同等の耐震性能とがあるとされる目標値は1.0以上。

注4) 耐力度調査とは、建物の老朽化を総合的に評価するもので、耐力度点数は建物の危険な状態の度合いを示し、4,500点未満は文科省の改築要件となっている。

注5) 耐震性 : 耐震性能有り : 耐震診断未実施のため判定不可 : 耐震診断実施中のため判定不可 x : 耐震性能無し